

令和5年4月23日執行

多摩市議会議員選挙公報

多摩市選挙管理委員会

教育の福祉。

中等教育(高校)までは私立公立を問わず、能力に応じて、学習を促すことなど進めるべきです。憲法26条では義務教育は無償であるという趣旨は、いかに私立公立でも、特別な区分による高校は、中等教育として中学校と同じ区分で用いられています。中学校と同等に高校を義務教育としていないのは不適切です。高校を義務教育として、国が高校の確保を担うべきです。市議会におきましては、義務教育とされている範囲内で、市民の無償と給食費の無償など、教育環境の充実を図ります。

アニメ観光。

多摩市にはアニメの舞台設定となっている場所が多数あります。アニメファンが足を運ぶだけでなく、聖地MAPの作成、イベントの企画など、多摩市議会へ建議すると共に、民間の機会でも定例会で多摩市(市長)へ推薦してゆきます。

教育の福祉の 二木

市民のこえ。

陳情・政策提案のお手伝いをします。多摩市に、これやってほしい、こうしたらいいのではない、という市民のみなまでの声を、陳情・提案の制度を利用して、提案者さまの名前で、市議会へお届けします。提案者さまの名義でも、二木の政治主義と異なる場合であっても、お手伝いさせていただきます。未成年者*ごとのみんなのこえもとくよ。

プロフィール。 <https://bit.ly/2Scas>
1982年3月16日生まれ、東京都出身の41歳。教育を受ける権利(憲法26条)の観点から教育「制度」を考えたい。高校と大学を履修し、教員免許。大学では教育学(社会学)を専攻し、教諭職に一定期間のみ従事するも、講師陣により中途(60分単位)教育環境の大切さを実感して学ぶ。



にさまたさかず 無所属 41歳

市民相談4000件! 信頼と実績の三階!

市議会にお送りいただいてから4期16年。皆さまからの温かいご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。これからより一層、市政発展のために尽くしてまいります。尚一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



三階みちお 公明党公認 55歳

三階みちおは挑戦します!

- 未来につながる能力ある多摩市!
- いのちを守る 安全な多摩市へ!
- 誰もが暮らしやすい安心な多摩市へ!

1967年9月9日生まれ、東京都出身。多摩市立西宮東小、東京都立中学校、府立女子高等学校卒。小田急商事(株)16年勤務。多摩市議会議員4期。区公民館内多摩市歴史資料室、子ども教育推進委員。専攻科：社会学専攻(経済社会学)、経営学専攻(社会学)。

元気な市民、未来へ希望の持てるまち多摩市へ!

- 子どもの学び・育ちを積極的にサポート! 放課後子ども教室の充実・プレイパークなど、子どもが安心して遊び、学べる居場所を拡充します。
- 市内のどこからでも保育サービスが受けられるよう、「駅前送迎保育ステーション」を設置して、働きながら安心して子ども育ててできる仕組みを提案します。
- 健康まちづくりで、全ての人がいきいきと暮らせるまちへ! アスリート、スポーツ人材による、市民向けの運動教室や栄養指導講座など、スポーツが普及した知識を、市民の身体性・精神的wellness向上に貢献できるような取り組みを進めます。
- 違いを認め合う、ダイバーシティ(多様性)のまちへ! 都市計画を見直し、多様な世代や職業、所得層の人が同じ地域(小学校区)で交流して暮らせるような、ソーシャルミックスのまちづくりを進めます。
- インクルーシブ保育・教育を進め、違いを認め合える共生社会を目指します。
- 未来を創造、持続可能なまちづくり! ニュータウンの空き家を活用した大学生・若者への住居支援と地域貢献ポイントの活用で、市民の高齢化を支える仕組みづくりを進めます。
- 市内公共交通を再編し、路線バス・コミュニティバス、ワンクックなど多様な交通手段で、移動しやすく、外出しやすいまちづくりを進めます。

市議10年、都議4年。その力で多摩市を元気に!
多摩みらいの会 T206-0022 多摩市議会2-1-13 042-389-3211 gen_s0814@yahoo.co.jp



しのづか 無所属

学校給食を無償に 市独自の家賃補助を

一緒に実現しよう!

補給費納入費助成・高すぎるUR団地の家賃引き下げ・障がい者福祉や地域圏域を守るために厚生労働省早期再開など皆さんの切実な声をしっかりと議会に届けます。困っている人にとって寄り添う市政を作っていきます。全力で頑張ります。

市民の切実な願いを実現します!

- 18歳までの医療費の完全無料化
- 赤ちゃんのオンライン代
- UR団地の家賃値下げ
- ミニバス増便、ワゴンタクシーの導入
- 介護の生活支援充実
- 国保税の負担軽減
- ジェンダー平等ハラスメントゼロの多摩市へ

安否きみ子市議からバトンタッチ
長崎・被爆地で生まれで平和への思いが一人一歩強く回っている人に寄り添う市政をこの思いで推進して欲しいです。何卒、お力添えをよろしくお願いします。

1979年長崎県生まれ。長崎総合科学大学、2021年都立国文学部卒業。2022年多摩市議補選立候補。現在、日本共産党多摩市支部支部長。多摩市議会議員。多摩市議会議員。

許しません!統一協会の多摩市への進出



上杉 日本共産党 だだし

ひとりを守り いのちを守る

市議会議員3期12年 市民相談3000件 「防災に全力!」

池田けい子のヒトコシ

特別企画から市民の生活をサポート! 池田けい子のヒトコシとは、市民の困りごとを解決し、安心して暮らせるまちづくりを目指すこと。地域課題を解決し、安全なまちづくりを目指す。防災対策を強化し、災害時の備えを整える。高齢者の見守り体制を整える。子ども安全対策を強化する。子育て支援策を充実させる。高齢者への見守り体制を整える。

池田けい子の住み笑顔

不妊症・不妊治療支援(相談窓口、検査・治療費の助成、産科検診の保証)。認知症ケア(相談窓口、認知症カフェ、地域包括ケアシステムの構築)。虐待防止対策(相談窓口、相談員、支援体制の構築)。

池田けい子の住み笑顔

不妊症・不妊治療支援(相談窓口、検査・治療費の助成、産科検診の保証)。認知症ケア(相談窓口、認知症カフェ、地域包括ケアシステムの構築)。虐待防止対策(相談窓口、相談員、支援体制の構築)。



池田 公明党公認



きりきり 自由民主党公認 45歳 ゆたか

ケアマネジャー、介護福祉士として
鍼灸マasseurとして
機能訓練指導員として
相談支援専門員として
一人ひとりの生活に寄り添って、地域課題の解決に貢献する。市民の困りごとを解決し、安心して暮らせるまちづくりを目指すこと。地域課題を解決し、安全なまちづくりを目指す。防災対策を強化し、災害時の備えを整える。高齢者の見守り体制を整える。子ども安全対策を強化する。子育て支援策を充実させる。高齢者への見守り体制を整える。

20年間1100人以上の介護・保育に携わってきた現場を知っている本当の福祉の専門家だから

知ってる!できる!

日本サッカー協会公認コロシアムとして

TOKYOで一番魅力のあるTAMAへ

松田大輔プロフィール

- 1980年(昭和55年)2月21日生まれ
- 大文化大学卒業
- 公営企業(株)人材センター事務局長
- 2014年12月(公営企業)人材センター退職
- 2015年4月多摩市議会議員選挙初当選
- 2019年4月多摩市議会議員選挙2期目当選

主な経歴・活動

- 下谷自治会長(令和5年)
- 多摩市消防団第8分団 専務副団長
- 落合四会(特養会) 副会長
- 多摩市バスケットボール連盟 会長
- 多摩市健康市民 副会長
- 多摩市議会新設会 幹事長
- 生活福祉推進委員会 委員
- 総務委員会 委員
- 健康福祉推進委員会 副委員長
- 子ども教育推進委員会 副委員長

松田大輔の活動実績

行かない、書かない、待たない市役所
南鶴牧小第二学童クラブ新設
第三小学校学童クラブ新設について



松田 自民党公認 43才

(2002-0022 多摩市議会の定数は26名です。この選挙公報は候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

多摩市議会議員選挙公報

多摩市選挙管理委員会

小さな声に寄り添い 多摩市を笑顔に!

皆さまからの温かいご支援ご協力を賜り、多摩市議会にお入りいただき、2期8年。「多摩市を笑顔に」との思いで戴いた市民相談は2000件を超え、多くの家業をカネにする事ができました。家業承継し上げると共に、長引くコロナ禍や電気・ガス・ガソリンをはじめとする物価高騰などから市民生活を守るため、今後もより一層、市政発展のために尽くしてまいります。

本間としえのビジョン

- 「電子母子手帳アプリ」の導入や、母子子育て支援業務のデジタル化
- 幅広い世代への仕組み作り(夜泊・日帰・訪問など)化
- 放課後「子ども教室」の拡大
- 「おくやみコーナー」設置
- 食品ロス削減への取り組み推進
- 避難行動要支援者の個別避難計画作成や避難所トイレの適正化
- 地域清掃活動や里親探し制度のさらなる推進・拡充

本間としえの主な実績

- ◆子育てを応援する「にやんども子育てLINE」の導入
- ◆全小中学校のエアコン設置、中学校体育館の空調整備
- ◆行政・民間を含む多くの手続きを網羅した「おくやみハンドブック」
- ◆「しごと・くらしサポートステーション」の開設(生活相談、引きとりの窓口)
- ◆防災マップ充実、避難所の拡充や分散避難を推進、液体ミルクを含む災害備蓄品の充実配備
- ◆ペットの同行避難は各避難所にて原則同行可



本間としえ

ほんま としえ
公明党公認

アツいあつしが、 多摩を変える。

6歳の子育て挑戦中!

自民党公認
最年少の新人、
石塚 あつしが、



いしづかあつし

いしづかあつし
自民党公認

イシアツ6つの政策

- 01 子育てしやすい、住みたいまち、たまへ
- 02 特色あるまち、たまを前進
- 03 ニュータウン・街の再生!
- 04 攻めの市政へギアチェンジ
- 05 デジタル技術でたまを前進!
- 06 たまの魅力をもっと大きく、もっと発信!

profile

出生地 神奈川県横浜市
 家族構成 妻・長男(6歳)
 趣味 ランニング、テニス、街歩き
 学歴 相光学園中・高、早稲田大学高専卒業
 職歴 東証一部 株式会社商社17年勤務
 所属 多摩市消防団 第4分団
 自民党3次選挙青年部 副部長

詳しくはSNSをご覧ください <https://ishiatsus1028amebaownd.com>

市長候補・市会議員 の経験を市政に



遠藤ちひろ

ちひろ
無所属
47歳

教育・子育て「生きづらさ」を抱える皆さんを応援

不登校特例校を作り、不登校から引きこもりになる連鎖をストップします。発達障害の子どものサポートを大幅増員し、みんながともに学べるインクルーシブ教育を進めます。

経済・暮らし「小さな市役所、大きな福祉」

市役所建て替えの建設費は123億円(予定)。本庁舎は簡素な設計に変更し、その予算を福祉に回しませんか。いじりばに花火大会を復活させたい!

介護・福祉「ニュータウンを終のすみかへ」

自宅だけで介護はムリ。認知症にも対応し、入院できる介護施設を多摩ニュータウンに誘致します。

選挙からみるプロフィール

1976年(S51)茨城県生まれ。祖父父母と3世代同居で育つ。信州大学中退を経て、奨学金で早稲田大学を卒業。2010年多摩市長選挙に34歳で出馬。翌年1位で市議会へ。以降3期連続当選。多摩青年会議所理事長などを経て、2022年多摩市長選に立候補。21,138票を頂くも次点。

123億円の新しい庁舎を見直し 教育・福祉第一の政策を進めます!!



中島律子

なかじまりつこ
無所属

- 1 地域で「ヒコマ」な街づくり
高齢者の専門性を活かした総合学習やアクティブラーニングの推進
- 2 インクルーシブ教育の推進
障がいのある児童の専門的先生を確保し、子どもも学びやすい環境を
- 3 障がい福祉の充実
子どもも学びやすい環境を
- 4 高齢者の暮らしを応援
世代を超えてつながる「おくやみ」の充実
- 5 安心して世帯を渡せる
空き家のある地域の管理を委託し、安心して暮らす環境を整える

温かくて豊か多摩市へ!



保坂ゆうま

ゆうま
27歳

健康で豊かに生活できるTAMAへ!

▶「共生」[共に進む(も)す]のまちづくり
▶みんなの力で健康で豊かに生活できる環境整備
▶リフレッド教育、リスキリングのサポート

若者子育て世代、現役世代への全力支援

▶若者による政策立案支援 ▶子育ての環境整備
▶好転から出陣卒業までの切れ目のない子育て支援
▶「学び」を積極支援(ボランティア・留学・農業体験など)

多摩ニュータウン再生へ全力!

▶「永山駅周辺再構築」「尾根幹線沿道の都市的活用」を全力推進!
▶尾根幹線沿い等へ企業・工場・商業施設の誘致 ▶団地のブランディング、近居住み替えの実現

自民党推薦

推薦も応援しています
内閣府特別顧問(元) 小倉まさのぶ
NPO法人JYMA日本青年連帯会 理事 元事務局長
多摩市若者会議 コアメンバー
居住中の公団分譲マンション 防災選任幹事

安心して老後を過ごせるまち

▶日医大永山病院の建て替え促進
▶介護予防の充実、安心の介護環境の整備
▶介護に従事する方への処遇改善

住民自治とシビックプライドの醸成

▶地域に対する当事者意識や自負心の醸成
▶課題解決先: 多摩市TAMAを世界へアピール
▶誰一人取り残さない市民サービスの実現

誰もが輝ける故郷多摩に!



いじまふみ

いじまふみ
自民党公認
40歳

- 1 思いきった決断で活気と賑わいを
今の多摩市には思いきった決断と実行力が重要! 市民や民間と協働し、求道者を生む。市内の商業、農業を強く支援。市内の公道アクセスの向上、尾根幹線に計画通りフレールを。
- 2 スポーツで健康まちづくりを推進
スポーツで街おこしと市民の健康増進を。少年スポーツを強く支援。スポーツでできる場所を確保。高齢者の健康維持にもスポーツを活用。中学校の部活動外部委託・地域連携をチャレンジ。
- 3 子供達の夢や笑顔あふれるまちに
生きる力を育む教育。遊び場・居場所の確保。幼保・学童クラブを更に支援。ヤングケアラーを支援。児童虐待を根絶。防犯カメラで児童生徒の安全確保。不登校特例校は早期実現を。
- 4 健康で安全安心に暮らせる環境を
さらなる医療の充実。歯科例題で健康長寿を。高齢者・障がい者など弱者に寄り添って。防災対策を更に強化。530(ハピセロ)運動で公園や道路の美化、管理を推進。
- 5 みんなが成長し続ける多摩市に
誰ひとり取り残さない! お互いを尊重し思いやりある平和な社会を。市民活動を大事に。ソーシャルファームの創設。子供達や若い世代の意見も聞き、音が変わる「故郷多摩」を創生。



第1投票区の投票所 は本庁舎1階ロビー 内から西第1会議室 となりました。



(多摩市議会議員の定数は26名です。この選挙公報は候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

令和5年4月23日執行

多摩市議会議員選挙公報

多摩市選挙管理委員会

私らしく生きるための政治

岸田めぐみの政策

- 子どもへの学びとおそびを保障するまち
- 子育て世代の生活不安を軽減するまち
- 高齢者の暮らしを支えるまち
- 地域を元気にするまち

岸田めぐみ 61歳

多摩市生活者ネットワーク 代表

多摩市議会議員

プロフィール

- 1983年 大府町立大宮小学校卒業
- 1984年 大府町立大宮中学校卒業
- 1986年 大府町立大宮高等学校卒業
- 2006年 多摩市議会議員選挙で初当選
- 2008年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2010年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2012年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2014年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2016年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2018年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2020年 多摩市議会議員選挙で再選
- 2022年 多摩市議会議員選挙で再選

日本維新の会

子育てで教育改革

給食費無償化、教育費 標準費 学用品義務教育で負担約120万円無償化を目指す。保育園の質の向上、広い園庭の整備と保育士配置基準見直し。一歩保育、シッターファミサポの利用補助で、全ての人がこどもの預け先に困らない多摩市へ。虐待から子どもを守る「虐待通報ダイヤル1891」の周知。

空き家活性化改革

「みんなの食堂」の増設、「日替わりカフェ」経営による、みんなが集まれる場所をすることで、こどもの見守りと高齢者を犯罪から守る。

全ては身を切る改革から。

議員報酬の削減をカットし、政治家自身を切りその覚悟を示すことで役所のお金の使い方に厳格になり、削減が実現できる。無駄な予算を削ぎ皆さんの為にしっかりと使われるお金を増やしていきます。

まっすぐに、改革を。

- ◆金融期間30年勤務
- ◆コンサルティング会社経営

日本維新の会 代表 日本維新の会 副代表 日本維新の会 政策委員 日本維新の会 議員 伊藤 隆典
馬場伸幸 吉村洋文 吉音多駿 やながせ裕文 石井みつこ

いぢち恭子

ともにも多摩市の未来づくり

多摩市議会議員

いぢち恭子プロフィール

- 1962年生まれのO型おひつし座
- 1976年から多摩市議会議員
- 市立第五中学校、専ら立山高校卒業
- 短大卒業、現代舞踊家
- 舞踊による身体表現研究に転進
- 2015年多摩市議会議員選挙に初当選、2019年再選(現在)

伊地智恭子(いぢちきょうこ) 61歳

まちづくりの会 事務局

〒206-0033 多摩市落合 3-1-3103
TEL & FAX: 042-376-4886

学校給食を無償に

18歳までの医療費を完全無料に

いま平和と暮らしを壊す大増税、大増税の政治が進められようとしています。こんな時こそ市民の暮らしを守る事が最大の使命である地方自治体が発揮すべき責務。平和と暮らしを守る。そして保育・子育て世代の多摩市をつくるために、全力でがんばる決意です。

子育てで真只中の世代として切実な願い実現に全力!

- 1 保育園給食を無料に
- 2 赤ちゃんのオムツ代ゼロ
- 3 小中学校体育館へエアコン設置
- 4 ミニバス増便
- 5 介護の生活支援充実
- 6 負担軽減
- 7 ジェンダー平等のハラスメントゼロの多摩市へ

日本維新の会 代表 日本維新の会 副代表 日本維新の会 政策委員 日本維新の会 議員 伊藤 隆典
大塚 大増税 STOP!

水害避難への公的支援を地域公共交通の充実

「決めたことはやり通す」が信条の4年の追求 新大塚橋交差点に歩車分離信号現行 聖蹟桜ヶ丘駅前に2万人の避難所確保

日本維新の会 議員

小林立 憲一

小林立 憲一 61歳

多摩市議会議員

プロフィール

- 1973年3月生まれ、多摩小、朝陽女子中、京大、中央大学法学部政治学科、中小企業金融公庫(現日本金融公庫)副理事長、多摩市議会議員(2期)、多摩市議会議員(2期)、多摩市議会議員(2期)、多摩市議会議員(2期)
- 多摩市議会議員(3期)、多摩市議会議員(3期)、多摩市議会議員(3期)

住みたいまちをあなたとつくる。

「違い」を力に!

これから未来を担う子どもたちを最優先!

政策づくりの視点

- 1 見捨てない、排除しない地域社会をつくらなくていい。
- 2 住み心地、くらし心地を守り高めていく。
- 3 「市民・行政・議会」相互のコミュニケーションを大切にいく。

日本維新の会 議員

岩永ひさか

岩永ひさか 61歳

無所属

・政界や特定団体の支援は一切受けず政治活動続けています。・今回も「No!選挙カー」の選挙活動を進めます!!

期日前投票のご案内

投票日当日、仕事や私用などで投票に行けない方は、期日前投票をご利用ください。

※選挙結果のお問い合わせについて

選挙結果は、公式ホームページに掲載します。

電話でのお問い合わせは、(338) 6886 多摩市選挙管理委員会事務局へ

期日前・不在者投票所	開設期間	開設時間
市役所西第1会議室	4月17日(月) から 4月22日(土) までの毎日	午前8時30分から 午後8時まで
関戸公民館ヴィータホール 聖蹟桜ヶ丘駅前ヴィータ・コミュニネ8階	4月18日(火) から 4月21日(金) までの4日間	午前10時から午後8時まで
永山公民館内 消費生活センター講堂 永山駅前ベルブ永山3階	4月18日(火) から 4月22日(土) までの5日間	午前10時から午後8時まで ※22日(土)のみ17時まで
多摩センター駅出張所 京王多摩センター駅東口改札側 京王多摩センターSC2階	4月18日(火) から 4月22日(土) までの5日間	午前10時から午後8時まで ※22日(土)のみ17時まで

(多摩市議会議員の定数は26名です。この選挙公報は候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

多摩市議会議員選挙公報

多摩市選挙管理委員会

日本維新の会 改革へ全力疾走!

私達も推せんす!

日本維新の会代表 馬場伸幸
日本維新の会共同代表 吉村洋文
参議院議員 石井節子
参議院議員 菅宮多岐

1 若者や子育て世代へ徹底投資
 ■待機児童問題は、誓から質の向上へ
 ■子ども・誰でも食望! の支援を拡充、食育の推進
 ■NOと宣言しない! 宣言! ■子どもの学びたい! 意欲を応援
 ■不登校児童対策 ■多摩市議会「子ども議会」による主催者教育

2 超高齢社会へと突入していく多摩市だからこそ
 ■商店街空き店舗や学校跡地施設を活用、市民交流の場を活性化
 ■空き家対策! 移住促進 ■特殊詐欺を地域で防ぐ
 ■地域公共交通の再編成で、移動負担を軽減
 ■予防医療の推進で、健康長寿のまち多摩市へ
 ■団地再生(リアブリ化)、マンション管理組合の活性化!
 ■誰一人取り残さない! ひとにやさしいデジタル化!

3 社会的弱者へのセーフティネットを構築
 ■障がい者も暮らしやすいまちづくり
 ■介護介護認知症にも、安心して暮らせるまちへ
 ■殺傷ゼロ、動物と暮らす共生社会へ

1981年12月7日生まれ/富士五岳幼稚園
多摩市立第五小学校/移住中高等学校
東京工業大学/維新政治塾1期生/日本維新の会
東京学芸大学/11企業でサラリーマンを10年

check! ぜび、私たちの政策をご覧ください

市民活動で培った当事者の声による ネットワークづくりとソーシャルデザインの方で 議会とまちに新しい風を!

無所属 せのおひろや

- 市民一人ひとりの尊厳と人権、命を守るための政治
 一地方自治体から平和な国・社会をつくる
- スポーツの方で未来へ投資 芸術・文化ではばたく若者を応援
 一あらゆる世代のプレイヤーと健康まちづくり 中学校の部活をコミュニティの部活に!
- さらに前進! 健康まちづくり一高齢者の孤立化を防ぎ、健康2次被害を防ぐ
- 子どもたちの育ちの時間、空間、仲間、手間を保障する
 一異年齢の子どもたちが地域で生き生きと まちくろみでつくり! 子育て・子育て
- 環境と人にやさしいニュータウン新生、せいせき・かわまちづくり
 一ニュータウンの空き家を活用した大学生・若者への住居支援と地域貢献プロジェクトの活用
- CO2排出ゼロを加速する一地球温暖化対策を推進させ、持続可能なまちへ

● 推薦します!
 多摩市長 阿部裕行 めぐみ会田村クリニック理事長 田村 豊 多摩センタークリニックみらい院長 藤井仁美
 都立大学客員教授 多摩市民自治体研究所理事 荒井文昭 大学教授 神子島 健 (株)はまアノーズ社長 林田誠哉

多摩みらいの会 事務所●多摩市貝取1760-8-302 <https://kibou-seno.com/> 詳細はこちら

多摩みらいの会 44歳 多摩市立選挙区から17年、せのおひろやの市民活動・運動・活動などソーシャルネットワーク(HP参照) ● 党員
 47歳 多摩市立選挙区から17年、せのおひろやの市民活動・運動・活動などソーシャルネットワーク(HP参照) ● 党員
 47歳 多摩市立選挙区から17年、せのおひろやの市民活動・運動・活動などソーシャルネットワーク(HP参照) ● 党員

みんなが笑顔で暮らし続けられる多摩市へ!

自民党 公認 やまざき 山崎ゆうじ 53歳

「ピカッと光る少子高齢化対策」
 若い世代を市内に呼び込むと共に、子どもを産み育てやすい環境づくりを推進し、高齢者が最期の時を迎えるまで安心して住める環境づくりに取り組みます!

「ピカッと光るニュータウン再生」
 空家の活用、団地・商店街の活性化、若い世代と高齢者が交流しお互いに支えあう、みんなが安心して暮らし続けられるまちを目指します!

「ピカッと輝くハッピータウン」
 「地域包括ケア」の推進/地域医療・高齢者福祉の充実/地域で助け合う防災対策/DXの推進等教育環境の充実/不登校や貧困など、ひとりも取り残さない環境づくり/障がい者や医療的ケア児たちの居場所づくり/ふるさと納税による税収増/市内産業振興の推進

「山崎ゆうじプロジェクト」
 長野県東市川(現千曲市)生まれ、幼少より多摩ニュータウンで育ち、多摩市立立川小学校・移住中高等学校卒業。卒業後、父の会社に入社。その後、父の会社を継ぎ、経営者として経験を積み、2019年多摩市議会議員選挙で初当選。

私らしく生きるための政治

岩崎みなこ

「平和をまもる社会を地域から」
 シンクステンシップ教育を地域で実践する

「子どもは権利の主体」
 子どもも相談・教育・権利擁護の体制づくり
 エネルギーシフトで持続可能なまちづくり
 新築・省エネ・脱炭素で地球温暖化を止める
 障がいを持っていても活躍できる社会
 混ざり合ってもいい社会
 地域ごとにも住める場所を増やす

PROFILE ■ 1960年 武蔵野市生まれ
 ■ 1984年 中央大学文学部卒業 証券会社勤務
 ■ 2007年～「NPO 若い世代・子育て・非暴力」に所属しCAPを広める活動
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙
 ■ 2015年 多摩市議会議員選挙

お互いさまに支え合うフェアな市政を!

立憲民主党 リベラル・平和・人権 縁の下の力持ち

市議員のアウトリーチで サービスに繋がらない人や 地域コミュニティのサポートを

「今だけ、金だけ、自分だけ」ならぬ市政運営を

伊藤 しゅんすけ
大河原 まさこ
川田 龍平
石川 大我
松下 玲子

皆さんの「声をチカラ」に! Power Your Voice!

藤原 マサノリ

「充実した暮らし! みんなで支えあおう」
 「美らな暮らし! みんなで支えあおう」

「美らな暮らし! みんなで支えあおう」
 「美らな暮らし! みんなで支えあおう」



開票について

開票は、4月23日(日) 午後9時から多摩市立総合体育館1階で即日開票します。
 有権者の方は開票を参観できます。
 車での来場はご遠慮ください。

(多摩市議会議員の定数は26名です。この選挙公報は候補者から提出された原稿をそのまま掲載したものです。)

